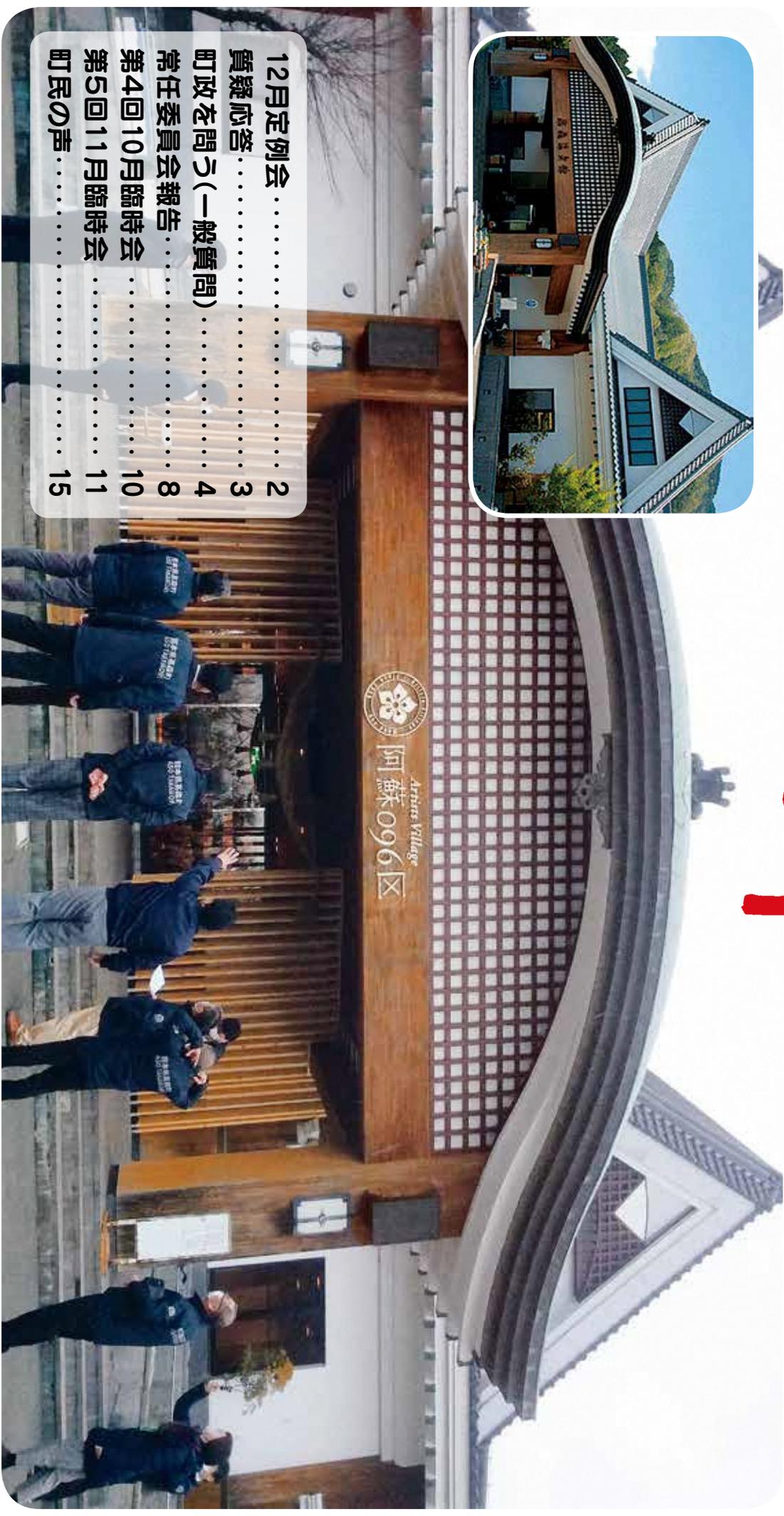
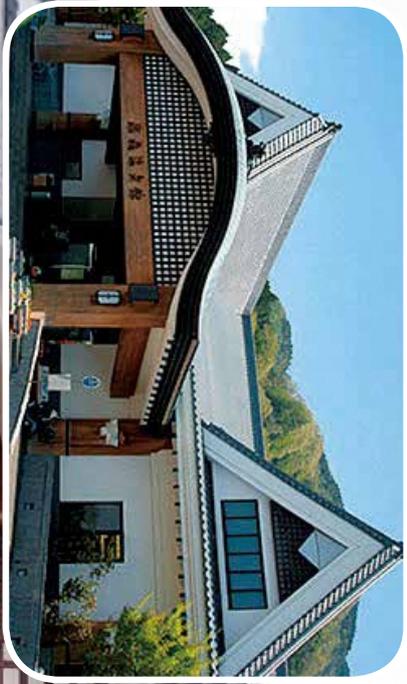


高森町議会だより

PARLIAMENTARY INFORMATION

絆

令和3年2月発行
No.80
12月定例会



12月定例会	2
質疑応答	3
町政を問う(一般質問)	4
常任委員会報告	8
第4回10月臨時会	10
第5回11月臨時会	11
町民の声	15

旧高森温泉館がブライヤーストビレッジ阿蘇096区に生まれ変わりました

令和2年 第4回12月定例会

(令和2年12月10日開会)

一般会計補正予算(第10号)

1億2,172万3千円を追加

予算総額 68億8,179万3千円

攻めの園芸生産対策事業

県の補助事業を活用し、地域の担い手となる農家組合が取り組む、小規模土地基盤整備や機械導入等に対して支援する。

事業費	県補助額	町補助額	事業主体負担額
936万円	312万円	74万円	550万円

コンビニ交付サービス導入促進実証事業

マイナンバーを利用して、住民票等をコンビニで交付するサービスに係る実証実験・効果検証を行う。

事業費	補助額	一般財源
660万円	660万円	0円



証明書自動交付機

公共土木施設災害復旧事業

令和2年7月豪雨で被災した公共土木施設の災害復旧工事(7カ所)を行う。

事業費	国補助額	起債借入額	一般財源	交付税措置額	実質負担額
7,090万円	3,940万円	3,140万円	10万円	2,983万円	167万円



- ①上津留川
- ②水上川
- ③上色見川
- ④柳谷・木郷線
- ⑤小峰ヶ谷・峰ノ宿線
- ⑥西高尾野線
- ⑦東社倉線

令和2年12月定例会 主な質疑応答

議案第73号

令和2年度高森町一般会計
補正予算(第10号)

質

〔牛嶋津世志議員〕

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業を受ける事業所の、認可外保育施設「おてんとさん」はどのような団体か。

答

〔住民福祉課長〕

上色見地区で活動されている認可外保育所です。主に野外教育活動をされている団体です。



おてんとさん

質

〔後藤巖議員〕

コンビニ交付サービス導入促進事業、実証事業について、令和3年2月後半から3月末までの実証・検証を行い4月から本稼働を開始という事だが早くできないか。

答

〔町長〕

直ぐに導入を検討したが、システム会社が最短でこれだということ、現時点ではこのスピード感が最短です。今後少しでも早く導入ができるならば導入に努めていきます。

質

〔津留智幸議員〕

攻めの園芸生産対策事業・熊本土地利用農業競争力強化支援事業について、対象者が地域の農家組合と組合法人となっているが、区別を解るよう説明を。

答

〔農林政策課長〕

農家組合と地域営農法人の違いは、農家組合は、同じ業種の作物を作られている3戸以上の農家が農家組合。地域営農法人は、法人登記をされ明確な法人格を持つ団体です。

ペーパーレス化へ向けてタブレット導入

新型コロナウイルス感染拡大防止を図り、議会議員が出席する会議や打合せによる密を避けるため、リモートによる会議を推進する。

また、ペーパーレス化を進めることによりコストの削減、事務の軽減が出来ることと

現在の情報化社会において、効率的で迅速な議会運営・議案審議・情報の共有・議会活性化など、町民に開かれた議会の実現とさらなる議会改革を推進する。



導入したタブレット



1月18日 第1回のタブレット講習会

一般質問

津留智幸議員

5人の熱弁

後藤 巖議員



高森駅にカーシェアリングを

駅からの二次交通の一つとして導入・誘致しては

町長 高森駅以外での検討を始めていただきたい

質問 2023年夏の全線開通を控え、高森駅からの二次交通の整備状況、具体的に高森町を周遊するための交通手段についての現況は。

策推長 政進課 高森町民バスの7路線の1日約2便から3便、また予約型乗合タクシーがある。

各観光地への移動手段の自由度が低いのが現状で、二次交通の機能としては厳しい状況であり、民間タクシー会社で担っていたいただいている部分が大きい。

質問 創造的復興によりこれまで以上の観光客の来町が見込まれる。高森駅が観光の拠点となり、町内を周遊できる交通手段の整備が求められる。各地に眠る新たな観光資源の発掘により、所得の向上、集落の活性化、住民の生活質の向上に繋がる『観光立町推進』のためにも具体策の一つと

して、高森駅にカーシェアリングシステムの導入・誘致が有効と思われるが、町長の見解は。

町長 南阿蘇鉄道沿線地域公共交通活性化協議会において、既存の町民バスやタクシーを利用したネットワークの構築を進める計画を国に提出している。また、現時点での工期及び工事の内容を考えると、駅周辺での実証実験は不可能と判断している。今後は地元バス・タクシー会社との連携を深めながら、高森駅以外での検討を始めていただきたい。



コロナ禍における歳入確保

ふるさと納税の取り組み及び推進状況

町長 更に推進していく



質問 ふるさと納税推進が課されていると思うが現在の状況はどうか。

策推長 政進課 本年度当初に町長から全職員宛に通達された「基本方針」のなかで、ふるさと納税の取り組みが示されている。今後は職員でふるさと納税の情報共有を行い額を伸ばせるよう進めていく。

質問 ふるさと納税推進の目的・目標は。

町長 人口減少や産業の縮小、過疎地域の様々な課題、コロナウイルスの影響により経済の落ち込みが予想され自主財源が少なくなってきた。財源の確保と言え

ばふるさと納税が一番である。目的は3つ、①町民の血税を使わない事②町のお金を使わない事③将来の若い世代につけを残さない為である。売れる商品を作ると売れ行き

と同時に町内事業者の商品も伸びる。この仕組みを町として一番やらなければならぬと捉えている。

質問 安心・安全と稼げる地域・拠点づくりや、移住定住化、南阿蘇鉄道の全線開通等に関する事業に企業版ふるさと納税の活用を計画しているがどの様な展開を考えているのか。

町長 企業版ふるさと納税は自社の福利厚生、給与や待遇に充てるのではなく、町の事業に充てる訳なので余程の事が無い限り納税は難しい。企業側へのメリットや地域の実情を精査して、企業に示せる提案・事業を提示していきたい。当然、断られる可能性もある。首長のトップセールスと議会議員の協力による効果が高いので更なるご尽力をいただきたい。

町政を問う

農業振興をどう考える

農業師匠制度をどう活かすか



町長 高森モデルを作りバックアップ

問 農業師匠制度を研修生の受け入れ、移住定住に活かしていくべきではないか。

林政長 農策課

本町では、8名として登録している。2名の方が研修されている。阿蘇管内では45名の研修生を受け入れている。その重要性、有効性は十分理解しており、また相談体制、農業師匠とのマッチング資金等の支援制度も充実している。

町長

農業師匠制度は素晴らしい制度であると前回回答しており、抜群で極めて優れた制度と思う。農業師匠制度をバックアップし高森モデルの仕組みを作り施策を打っていかないと本当に厳しい時代が来ている。特定地域づくり事業推進法が国会で可決された。組合を作って活用すればいろんな支援が利用できる。高森町は必ず農業師

匠制度を行政一丸となってバックアップすることによって約束する。

問

農業も規模拡大が図られ、農業機械の大型化が進み農道の幅員の確保が必要に迫られている。現状の5割、50万円の助成では対応出来ないの町事業としての対応は出来ないのか。

林政長 農策課

農業農村整備事業があり、町が事業主体でやることを勧めていく。

町長

国の農業農村整備事業を活用する。又、すぐやらなければいけない所は町独自の施策として来年度から展開していきたい。その農道を農業継続へとなるように基準を作っていきたい。絶対的な条件となるのが、用地を提供していただく事。財源は用意し、町単独施策として来年度考える。

県立高森高校

魅力を向上させる新たな取り組み



町長 マンガ科(コース)の設置を進める

問

高森高校は県教育委員会との所管にはなるが、高森町との連携協定に基づく取り組みを進めているコアミックスグループにご協力いただけるのであれば、県立高森高校の魅力を向上させるための新たな取り組みができるのではないかと。

町長

コアミックスによる様々な事業が開かれているが、096Kの取り組みに関して、県の管理職の方々に、まさに地域おこし協力隊のモデル的事業との言葉をいただいた。

現在、高森高校の新たな魅力を向上させる取り組みとして、マンガ科(コース)の設置を進めている。

公立でのマンガ科は全

国で調べた限り、例がない。私立高校でマンガ科設置がある学校でも漫画家を育てることが難しい状況で、その理由として、

プロの漫画家の確保ができないことや編集者とのパイプがないことが大きな理由である。

その点、コアミックスは漫画家・編集者の両方を兼ね備えているため、全国の漫画家を目指す学生にとっては、大きな魅力となることは間違いない。

実際には漫画だけを学ぶのではなく、漫画に携わる職業であったり、漫画から波及する、これからの時代のあらゆる産業の入り口としても大きな魅力となり得る。

現在、町と県教育委員会と協議を進めており、コアミックスと県教育委員会も協議に入ったところである。

町の将来を担っていく子どもたちの人材育成に、コアミックスのご協力をいただきながら、進めてまいりたいと考えている。

田上更生議員

5人の熱弁

立山広滋議員

高森高校2年生傍聴

18歳選挙・主権者教育は



牛嶋津世志議員

教育長

高森町新教育プランの取り組み

総務課 若者の選挙離れは起きているが、投票のやり方を変えたら投票に行く人が増えている。法改正があり、期日前に投票が始まった。今では過半数以上の当事者が期日前に投票を行っている。身近な選挙では、支援者とか身内の方が選挙に行こうと呼びかけをされるので、そ

質問 高森町は若者に政治に関心を持たせる対策を検討しているのか。

総務課 2016年7月に参議院議員選挙で、高森町の18歳・19歳有権者は94名だ。その中で投票に行った方は36名で38・29%だった。

質問 2016年(平成28年)6月選挙法改正後、高森町の18歳・19歳の選挙有権者は何名いたか。

れを国政選挙にも生かしていくのが良いかと考えている。

質問 平成27年に一度質問しているが、その後、小中学校において、主権者教育の指導、内容の変化はあったか、現在はどのように指導されているのか。

教育長 主権者教育については、児童生徒の発達段階を踏まえつつ、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うよう、教育の充実を図るという事に基づき、現在も教育指導を行っている。高森町新教育プランの取り組みが県・国のレベルで評価され、それが主権者教育につながっていると認識している。高森町新教育プランに基づき、今後教育に力を入れていきたい。

特別委員会報告



水資源対策特別委員会

上津留・山付地区協議会設立に関する現状報告を建設課水道係から経緯の説明を受けこれから協議会を立ち上げる課題及び方針を協議した。



地方再生特別委員会

地方再生特別委員会は、政策推進課観光係長から実施した、また実施中の新型コロナウイルス感染症対策事業について説明を受けた。

住民福祉課長から住民に対してTPC・ホームページ等を使って感染防止の呼びかけ、啓発を随時実施している説明があった。

高森高校2年生

初めての議会傍聴

12月11日（金）、高森高校2年生が一般質問の傍聴を行った。

この取り組みは選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、行政や議会への関心を高め、地域社会の担い手であるという意識の涵養を促し、社会貢献への育成を目的として企画されたものである。

新型コロナによる密を避けるため、傍聴者を半分に分け、議場での傍聴及び委員会室で高森ポイントチャンネルの生放送を視聴した。



議場で一般質問を傍聴する高校生



TPCで一般質問を視聴する高校生

傍聴を通しての感想

- 行政を知ることが出来た。
- 高森町の現状や課題が分かった。
- 話の内容を理解するのが大変難しかった。
- 説明が分かりやすかった。
- とても良い経験になった。
- 中学で子ども議会に参加して以来2回目の傍聴で、将来役立ちそうな情報を見つけられて良かった。

議会の印象は？

傍聴前後で印象は変わりましたか？

- 町の問題を考える重要な役割。
- 暮らしを豊かにするための会議。
- 高森町の今の現状を知ることができました。
- 全体的に難しいと思ったけど、事前に勉強してためになった。
- 簡単と言う訳でもないけど、めっちゃ難しいという感じではなかった。

総務文教常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

10月23日、熊本県農畜水産物の学校給食への提供事業に基づき実施されている県農畜水産物を使った学校給食の試食会に高森小学校を訪問した。

この事業は県農畜水産物への理解を深め、地産地消の推進、PRを目的に実施されている事業で、当日の給食メニューの天草真鯛の香味ソースかけ・ワンタンスープ・牛乳・麦ごはんを試食した。



給食を試食する総務文教常任委員

この事業が県農畜水産物の消費拡大に繋がることを願うとともに子どもたちの給食の状況を見て、給食担当の職員の方が毎日

安全で安心した美味しい給食を提供していただき、子どもたちのより良い食育環境に努めておられることに感謝したところである。

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「町有林造林委託契約」、「高森町国民健康保険条例の一部改正」、「令和2年度高森町一般会計補正予算」については、担当者から詳細に説明を受け、審議した。

◎町有林造林委託契約について

本件は、大字尾下字小弾ヶ871番地他7筆、字奥右849番地の一部の108,600㎡について、尾下造林組合と造林委託契約を行うものであり、担当者から当該造林地の野尻村有林当時から造林経過、及び他の造林組合との分収割合など詳しく説明を受け審議した結果、可とすることと決定した。

◎高森町国民健康保険条例の一部改正について

本件は、関係法律の改正に伴う

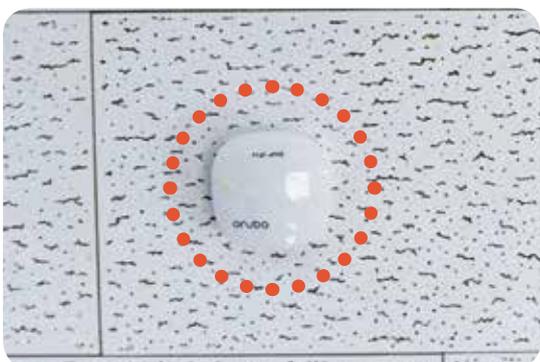
税条例の一部改正であり審議した結果、可とすることに決定した。

◎令和2年度高森町一般会計補正予算について
担当者から補正予算に詳細に説明を受け審議した結果可とすることに決定した。

【主な質疑事項】

質 庁舎、総合センターの無線LAN整備について何う。

答 庁舎、総合センターに無線LAN15力所設置するもので、整備することにより、今まで無線LANが届かない場所でもフリーWi-Fiが使えるようになる。



委員会室に設置されたWi-Fi

質 新型コロナウイルス禍で各種の会議、イベントが開催出来ない状況にあるが、「コロナのリスクレベルがどの程度になれば開催出来るか伺いたい。

答 国、県の基準は示されているが、近隣地域の感染状況等を加味して判断することになる。

質 学校関係の備品の修繕状況について何う。

答 学校関係備品については、数種類共に多いため故障等発生したものを逐次修繕することに対応している。



高森中央小学校が教材として使用している顕微鏡

産業厚生常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

10月13日、11月25日、常任委員会を開催し所管各課と質疑応答を行った。主なものを報告する。

JA阿蘇ガソリンスタンド下タンク設置事業については、熊本地震の経験をもとに高森町のエネルギー供給拠点が現状3カ所需要なこと、国の補助事業および町の整備事業で対応したいと説明があった。今後、同様の申し出があれば同様の扱いをするように意見が出された。



JA阿蘇ガソリンスタンド

高齢者等外出機会創出事業については、購入予定台数はシニアカー30台、段階を経て購入していく事、保険を同時に加入する事の説明があった。安全講習を事前に

行うように意見が出ている。

免許返納により外出機会が減った高齢者にとって、新たな生きがいに繋がればと考えている。



☆会期中の委員会審議

(主なものを掲載)

委員会に付託された「令和2年度高森町一般会計補正予算」条例改正、各特別会計補正予算について、担当者より詳細に説明を受け審議した結果、付託されたすべての議案を可とした。

◎高森町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について本件は、上位法改正にともなう条例変更であり可とした。

高森町に該当施設は無いとのこと。

【主な質疑応答】

【質】コンビニ交付サービス導入促進実証実験事業について伺う。

【答】条件としてマイナンバーカードの登録が必要。

感染症対策として庁舎内だけでなく幅広く各種証明書類が入手できるように整備する必要がある。

【質】現在のマイナンバーカードの取得状況は？

【答】現在、阿蘇郡市においてフースト2位である。熊本県下でも下位であり引き続きPRに努める。



マイナンバーカード申請状況

【質】高森町の農業戸数・従事者数及び農業師匠を伺う。

【答】2015年 販売農家戸数337戸、2020年 販売農家戸数258戸。自営農業者数は627名から473名に減少。

ちなみに新規就農者は5年で9人。農業師匠は個人8名、法人1社である。

第一次産業は町の主幹産業でもあり、各種補助金の活用や、休耕地対策事業を通じサポートしていくように意見が出された。



農業師匠のビニールハウスでの実習

令和2年 第4回10月臨時会

(令和2年10月19日開会)

一般会計補正予算(第7号)

1億7,698万8千円を追加

キャッシュレス決済普及推進事業(地方創生臨時交付金活用予定)

これまで役場や金融機関に限られていた町税及び各種料金の納付機会をスマホやコンビニに拡大し、収納できるようにする。

事業費	補助額	一般財源
1,025万円	1,025万円	0円



介護予防拠点整備事業

今後急増する高齢者世帯等が可能な限り住み慣れた地域で日常生活を送ることができるよう、県の補助事業を活用し、「介護予防拠点」として公民館入り口のバリアフリー化及びトイレの改修等を実施する。

事業費	補助額	一般財源
1億2,188万円	1億2,188万円	0円



改修された公民館



玄関をバリアフリーにしました

令和2年 第5回11月臨時会

(令和2年11月25日開会)

一般会計補正予算(第8号) 専決

8,565万7千円を追加

高森町データ放送連携アプリ(地方創生臨時交付金 活用予定)

町が発信する行政情報(TPCデータ放送等)をスマートフォンのアプリでも確認できるようになる。町外にいて防災無線を聞けない場合やたかもりPointチャンネルを視聴できないときもスマートフォンから最新情報を入手可能。



事業費	補助額	一般財源
1,650万円	0円	1,650万円

避難所等強化対策事業(発電機導入)(地方創生臨時交付金 活用予定)

地元公民館を避難所として活用するために発電機を整備する。(31台導入予定)



事業費	補助額	一般財源
1,800万円	0円	1,800万円

一般会計補正予算(第9号)

800万円を追加

ふるさと納税プロモーション支援事業

ふるさと納税の寄付を集めるため、全体的なプロモーションを行うための業務を委託する。

事業費	補助額	一般財源
800万円	0円	800万円

令和2年度高森町子ども議会

12月18日（金）子ども議会が開催され、高森東学園9年生及び高森中学校3年生の生徒代表がよりよい町づくりのための提案、発表を行った。

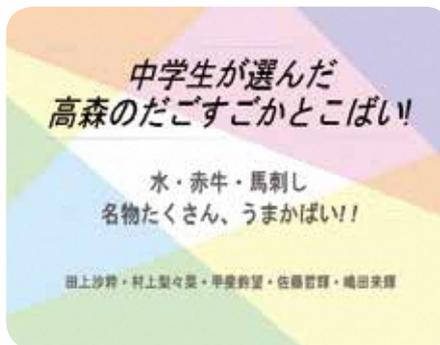
議長 中川雄登さん

議長の仕事の大切さや難しさを知った。また、当初は務まるか不安だったが、最後までやり遂げることが出来た。



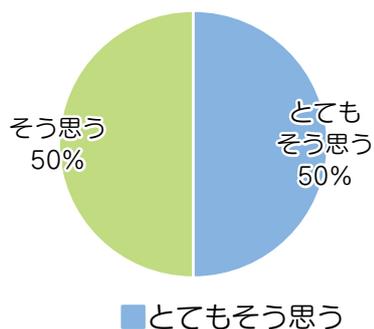
提案内容

- 高森東学園9年生
ICTを活用した無人販売店の設置
- 高森中学校5班
ふるさと納税返礼品（デイキャンプ）の提案
- 高森中学校6班
SNSを活用したPR動画・キャラクターの作成
- 高森中学校7班
ふるさと納税返礼品（コミックグッズ）の提案

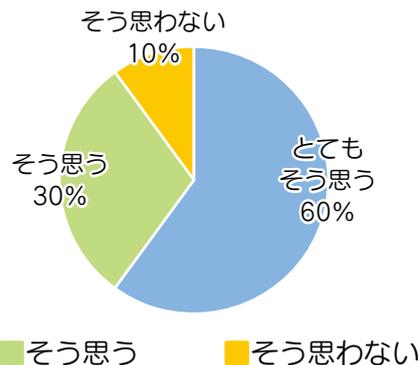


発表者へのアンケート

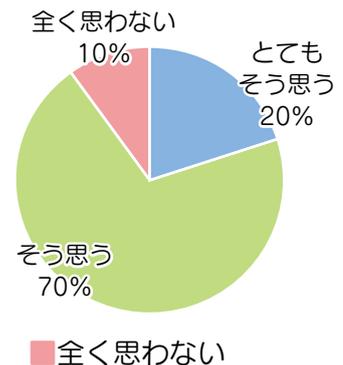
議会に興味を持ちましたか。



町の行政(取り組み)に興味を持ちましたか。



いつか町の議会に参加したいと思いましたか。





マイナンバー

マイナンバーカードを つくりましょう!!

マイナンバーカードで出来ること

- ★顔写真付きの身分証明書として利用
- ★住民票の写し、印鑑証明書などの証明書のコンビニでの取得
- ★児童手当の現況届や確定申告などのオンラインでの手続き
- ★マイナポイント事業（2020年9月から開始。キャッシュレス決済サービスを通じてマイナンバーカードの所有者1人につき最大5,000円相当のポイントを還元。）

交付申請の流れ



スマートフォンからの申請

スマートフォンで顔写真を撮影し、交付申請書のQRコードから申請用のウェブページを開き、必要事項を入力し、顔写真を添付して送信する。



パソコンからの申請

デジタルカメラ等で撮影した写真をパソコンに保存し、申請用ウェブサイトを開き、必要事項を入力、顔写真を添付し送信する。



郵送による申請

交付申請書に顔写真を貼り、郵送する。



受け取りについて

交付通知書のハガキが届いたら、役場住民福祉課窓口にお越しください。

必要なもの

- 交付通知書、本人確認書類、通知カード・住民基本台帳カード（お持ちの場合）



アーティストビレッジ 阿蘇096区

(株)コアミックスによる漫画家誘致や劇団創設に伴い、若き世界・国内の漫画から発展するエンタメ業界の「クリエイター」「アーティスト」たちの活動・移住定住の拠点として、高森町にアーティストビレッジ阿蘇096区を設立。

敷地内には「居住エリア」と「本館施設」を有し、本館施設内にはアーティストたちのための「稽古場」「動画編集スタジオ」「収録スタジオ」「漫画制作スタジオ」に加え、「食品開発のためのセントラルキッチン」も備わっています。

この「阿蘇096区」を、多方面の業界と連携する機関とし、将来的に漫画、演劇、アニメ、映像、ゲーム、おもちゃといった漫画から発展するエンタメ新産業を創出、漫画による「人・社会・ビジネス創造」の拠点とすることを目指しています。



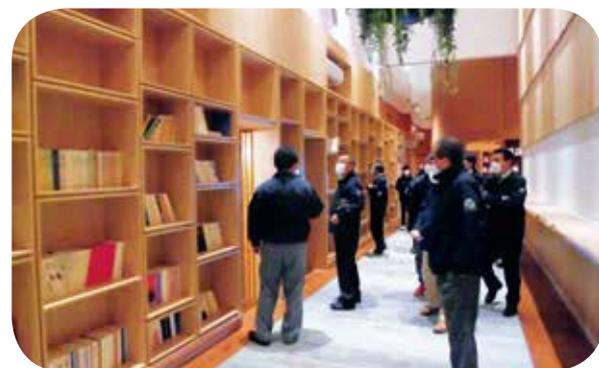
持田社長から説明をうける議会議員



096k 稽古風景



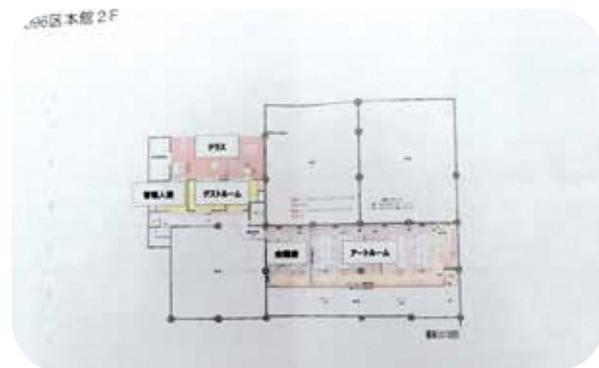
スタジオ視察



施設内視察状況



1階平面図



2階平面図

町民の声



日置 一雄さん
(高森・昭和)

46年間の東京での生活に区切りをつけ、高森町に帰ってきて早4年が経過しました。当初、長年離れた地元の生活にどう馴染んでいくか一抹の不安もありましたが、何の問題もなく過ごしております。小さいころからの友人も多く、お付き合いには事欠きません。また、出身高校の同窓会や同期会、長年勤務した会社のOB会にも参加し、旧交を温めております。また、昭和区公民館では役員としてお手伝いさせていただいており、少しでも地域の皆様のお役に立てればと思っております。

現在の楽しみは「弓道」で、生前父も弓道をやっており、友人の勧めもあり3年前に高森弓友会に友人と入会しました。令和2年は新型コロナの影響で県内外各地で開催される弓道大会や昇段試験もほとんど中止となり、日頃の成果を発揮する場がなく残念でした。過去には高森町でも「梅林館弓道大会」を毎年開催しており、現在も多くの方から当地での弓道大会開催を期待する声が聞かれます。残念ながら昨年4月、町内に在った弓道場が急遽閉鎖となり、現在は町民体育館の中庭を借用し、日々楽しい仲間と修練しております。町内にも全体的な練習が出来る弓道場を作っていただきたく強く期待しております。

さて、議会の活動については「議会だより」やTPCの放映で何となく理解は出来るものの、議会や議員の活動が分からないという町民も多いのではないのでしょうか？議員の皆様には町民の代表であることを強く意識し、住民との意識乖離の縮小を図りながら、常に町民の声、地域の意見等を傾聴し責任ある行動をされる事を望みます。また、少子高齢化の進行やインフラの老朽化など地域問題が多様化する中、困難な課題を民主的に解決するため、議会の担う役割が一層重要となってきております。議員各位の益々のご活躍を祈念いたします。



甲斐 康利さん
(津留・宮園)

朝起きてテレビを付けるとコロナ、新聞を開くとコロナの記事が目に入る。新しい年には減ることを期待したが減るところかイギリス生まれの感染力の強い変異種の日本への侵入を伝えている。国も膨大な金を使い鎮静化に努めているが結果がみとおせない。早急なワクチンの開発が待たれる。

我が住んでいる町も空き家が多くなり住んでいる者も高齢者が多い。この高齢者を入院入所させず元気で我が家で長く過ごせるように役場、社協ではこの老人を集めて頭の体操、体の体操を行うサロンの場を作っていただいている。

川柳に「ボケ防止読み書き喋り考える」と云うのがある。集まった老人は読み書きしながらお互いの失敗に笑いこける。お陰で皆元気だ。企画いただいた役場、社協にお礼を申し上げたい。

町村議会広報研修会報告

11月12日菊陽町図書館ホールにて、町村議会広報研修会が開催され、議会広報特別委員4名と事務局2名が出席した。

研修会では議会広報コンクールの表彰式やコンクール入賞団体によるパネルディスカッションが行われ、分かりやすい広報づくりのコツなどを学んだ。



議会広報「絆」への審査コメント

- 表紙のタイトル、写真、目次の配置など安定感がある。
- カラフルで見やすい。
- なじみのない言葉があるので、用語解説を含めた説明があれば親切。
- 長文が続くと読みづらい。
- 見出しを入れたり写真を入れるなど工夫してほしい。

議会広報特別委員会では、これらの改善点などをふまえ、今後さらに読み手に分かりやすい広報づくりを目指していきたい。

編集後記

先日、鹿児島・宮崎両県に関わる慶長の役（1598年）～明治維新～太平洋戦争終結へと繋がる史跡を巡る機会を得て、改めて歴史を紐解いてみました。これまでに変革してきた事、現在でも継承されている事柄に接し、今日の繁栄は史実上における多くの犠牲や、次世代を憂慮する先人たちの熱い想いに基づいている事を再認識しました。何不自由なき現代、これからは多様な価値観を共有出来る人材を多く輩出していく事も、肝要であると思えてなりません。

津留 智幸

議会広報特別委員会

議長	後藤 三治（発行責任者）	委員	津留 智幸
委員長	牛嶋津世志	委員	後藤 巖
副委員長	後藤 清治		

